

公益財団法人第一三共生命科学研究振興財団（理事長 眞鍋 淳）は、先般開催された第57回理事会において、2025年度研究助成並びに2026年度海外留学奨学研究助成の採択者を決定しましたのでお知らせいたします。

2025年度研究助成は227名の応募者があり、このなかから採択者46名を決定し、また、2026年度海外留学奨学研究助成は56名の応募者があり、このなかから採択者5名を決定しました。

公益財団法人第一三共生命科学研究振興財団
2025年度研究助成並びに2026年度海外留学奨学研究助成採択者

【研究助成】46名（200万円交付）

生命科学研究分野

（50音順 敬称略）

| 氏名 | 所属機関名 | 研究課題名 |
|--------|-----------------------------------|--|
| 飯島 則文 | 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所創薬デザイン研究センター | 潜伏感染ウイルスの再活性化が引き起こされる神経内情報伝達経路の解明 |
| 石山 詩織 | 山梨大学大学院総合研究部 生命環境学域 | 発達期ストレスが腸バリアを蝕む：慢性炎症体質を介した脂肪肝炎・2型糖尿病発症メカニズムの解明 |
| 伊藤 三郎 | 東京慈恵会医科大学内科学講座 呼吸器内科 | 老化関連呼吸器疾患における多機能性代謝性疾患治療薬の抗老化治療薬としての応用 |
| 井上 剛 | 長崎大学医歯薬学総合研究科内臓機能生理学 | アセチルコリンを介した腎臓恒常性維持機構の解明 |
| 上田 和孝 | 国際医療福祉大学循環器バイオバンクリサーチセンター | 免疫細胞の挙動解析による血管炎症機構の解明 |
| 上地 浩之 | 京都大学大学院薬学研究科 | ALS に介在する細胞内相分離を調節する代謝経路の研究 |
| 大久保 周子 | 京都大学 iPS 細胞研究所 未来生命科学開拓部門 | 細胞運命決定の柔軟性を支える翻訳制御メカニズムの解明 |
| 大戸 梅治 | 東京大学大学院新領域創成科学研究科 | 自然免疫に関わる細胞内核酸センサータンパク質の構造生物学研究 |
| 大沼 耕平 | 島根大学学術研究院農生命科学系 | シンプルなホヤ幼生から紐解く、脳発生における神経細胞の分化と細胞動態の分子基盤 |
| 大森 義裕 | 広島大学大学院統合生命科学研究科 | 小型魚類疾患モデル のゲノム 機能解析による 眼科領域疾患発症機構の解明 |
| 岡部 泰賢 | 大阪大学免疫学フロンティア研究センター | 粘液繊毛クリアランスを基盤としたユニバーサル呼吸器感染予防法の創生 |

| | | |
|--------|--|---|
| 岡本 一男 | 金沢大学がん進展制御研究所免疫環境ダイナミクス研究分野 | 免疫-間葉系細胞間ネットワークに基づく骨格筋恒常性維持と病的組織変化の理解 |
| 小栗 靖生 | 奈良女子大学 研究院 生活環境科学系 食物栄養学領域 臨床栄養学分野 | ベージュ脂肪細胞の増殖機構の分子基盤解明と応用展開 |
| 笠井 淳司 | 名古屋大学環境医学研究所 | 神経発達症の新たな治療戦略確立のための脳機能解析 |
| 柏木 光昭 | 筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構 | レム睡眠中の大脳活性化のメカニズムと意義の解明 |
| 加納 麻弓子 | 聖マリアンナ医科大学医学部 代謝・内分泌内科学 | 1 細胞ロングリードトランスクリプトーム解析を用いた腫瘍性骨軟化症の病態解明 |
| 岸 雄介 | 東京大学定量生命科学研究所 | 老化に伴うマイクログリア亜集団の同定とその機能解析 |
| 北嶋 俊輔 | 公益財団法人がん研究会がんプレジジョン医療研究センター がん免疫制御プロジェクト | KRAS 阻害に伴う MHC class II 依存的な抗腫瘍免疫応答機構の解明 |
| 木村 航 | 理化学研究所生命機能科学研究センター 心臓再生研究チーム | 代謝経路をターゲットとした新規心臓再生法の開発 |
| 倉谷 歩見 | 大阪大学 微生物病研究所感染病態分野 | VeDTR システムを用いた腫瘍特異的 NK 細胞サブセットの機能解析と治療標的化 |
| 齋藤 諒 | 理化学研究所開拓研究所 齋藤生命現象エンジニアリング理研 ECL 研究チーム | 新規 ncRNA 関連タンパク質を用いた超小型ゲノム編集ツールの開発 |
| 阪口 雅司 | 熊本大学大学院生命科学研究部代謝内科学講座 | 褐色脂肪活性化因子 SerpinA1 のエイジング阻止作用と糖尿病治療の開発 |
| 佐藤 卓 | 日本医科大学 大学院医学研究科代謝・栄養学分野 | 化学療法剤耐性がんの代謝特性を捉える三次元オルガノイド解析基盤の構築 |
| 新明 洋平 | 国立大学法人浜松医科大学医学部神経生理学講座 | フェレットを用いた大脳形成障害の原因解明 |
| 鈴木 基高 | 大阪大学大学院生命機能研究科 | 睡眠によって意識が消失する時、脳の中で何が起きているのか？ |
| 園下 将大 | 国立大学法人北海道大学遺伝子病制御研究所がん制御学分野 | 膵がん形成を促進する腫瘍微小環境の解明と新規治療法の開発 |
| 高田 仁実 | 奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科 バイオサイエンス領域 幹細胞工学研究室 | 萎縮性胃炎から胃がんへの連鎖を断つ: 胃腺幹細胞の正常化戦略 |

| | | |
|--------|---------------------------------------|---|
| 高橋 朋子 | 埼玉大学大学院 (大学院理工学研究科) 生命科学部門分子生物学領域 | 外来二本鎖 RNA に対する細胞応答の選択原理の解明 |
| 長町 安希子 | 公益財団法人神戸医療産業都市推進機構先端医療研究センター 動物実験飼育施設 | SAMD9/9L の核内機能異常による新たな造血不全 |
| 中村 明枝 | 国立成育医療研究センター研究所分子内分泌研究部 | 小児がん経験者における晩期内分泌合併症の病態解明:細胞老化の視点から |
| 西山 朋子 | 京都大学大学院理学研究科生物科学専攻 | ゲノム高次構造破綻によるコヒーシオン関連疾患発症機構の解明 |
| 樋口 麻衣子 | 立教大学理学部生命理学科 | 原癌遺伝子 Akt による上皮細胞の細胞間接着制御メカニズムの解明と創薬への応用 |
| 堀 沙耶香 | 奈良国立大学機構 奈良女子大学研究院自然科学系生物科学領域 | 感覚モジュレーションの分子機序:線虫モデルを用いた神経感受性修飾の解析 |
| 村上 真理 | 大阪大学大学院医学系研究科 | クローン病における環境因子依存的 T 細胞応答の分子基盤の解明 |
| 森嶋 達也 | 熊本大学国際先端医学研究機構 | ミトコンドリア tRNA タウリン修飾異常による加齢性造血器疾患発症機序の解明 |
| 森田 英嗣 | 弘前大学農学生命科学部 | 細胞内病原体を標的とした選択的オートファジーの分子機構解明 |
| 安永 純一郎 | 熊本大学大学院生命科学研究部血液・膠原病・感染症内科 | HTLV-1 が惹起する免疫攪乱機構に着目した成人 T 細胞白血病に対する新規治療法の創出 |

創薬基盤研究分野

| 氏名 | 所属機関名 | 研究課題名 |
|---------|--------------------------------|---|
| 牛丸 理一郎 | 九州大学高等研究院 | ラジカル酵素の触媒機構解析を基盤とした修飾ヌクレオシド合成法の開発 |
| 大神田 淳子 | 信州大学学術研究院 (農学系) | 天然変性蛋白質のリン酸化修飾が介在するストレス応答機構の解明と化学ハイジャック |
| 越智 俊元 | 愛媛大学大学院医学系研究科血液・免疫・感染症内科学講座 | 新たな免疫機序に基づく adjustable CAR-T 細胞の創薬開発 |
| 佐々木 麻里子 | 国立研究開発法人国立がん研究センター研究所がん治療学研究分野 | 次世代型合成致死標的探索法による合成致死標的の同定とそのメカニズムの解明 |

| | | |
|----------------|---------------------------|--------------------------------------|
| 高場 啓之 | 東京大学大学院医学系研究科免疫学 | 局所免疫寛容スイッチによる中枢神経自己免疫疾患の再発制御と精密治療の創出 |
| マネネト ジュ タマト | 富山大学学術研究部薬学・和漢系和漢医薬学総合研究所 | 天然物由来の新規抗腫瘍剤:低酸素環境下のオートファジー標的 |
| 森廣 邦彦 | 東京大学大学院工学系研究科化学生命工学専攻 | 人工核酸を活用したエピゲノム創薬プラットフォームの構築 |

新領域研究分野

| 氏名 | 所属機関名 | 研究課題名 |
|-------|-------------------------|------------------------------------|
| 大塚 洋一 | 大阪大学大学院理学研究科物理学専攻 | 広域シングルセル質量分析イメージングの開発と疾患組織の代謝変容の究明 |
| 松井 広 | 東北大学大学院生命科学系研究科超回路脳機能分野 | 血液脳関門の動的制御メカニズムの解明と薬物送達技術への応用展開 |

【海外留学研究助成】5名（750万円/年、2年交付）

生命科学研究分野

(50音順 敬称略)

| 氏名 | 所属機関/留学先/国名 | 研究課題名 |
|--------|--|--|
| 黒瀬 心 | 慶應義塾大学大学院精神・神経科学教室 トロント大学 Canada | 神経変性疾患の混合病理におけるグリア細胞の応答メカニズムの解明 |
| 酒井 まどか | 京都大学医生物学研究所ウイルス感染研究部門RNAウイルス分野 Institute of Integrative Systems Biology (I2SysBio), University of Valencia SPAIN | 異種間伝播リスクを伴う流行ヒトウイルスによる動物ウイルスのヒト細胞侵入促進作用の解明 |
| 伴田 一真 | 大阪大学大学院医学系研究科心臓血管外科学 Stanford University School of Medicine, Department of Cardiothoracic Surgery USA | 心停止ドナーの新規心筋保護戦略として合成RNAを用いた冬眠心筋誘導法の確立 |
| 山口 慎一郎 | 立命館大学大学院薬学研究科免疫微生物学研究室 アラバマ大学バーミングラム校 USA | 環境微粒子によるエピジェネティック変異の分子機構解明 |

創薬基盤研究分野

| 氏名 | 所属機関/留学先/国名 | 研究課題名 |
|-------|--|------------------------------------|
| 二宮 大悟 | 東北大学大学院薬学研究科 Rice university USA | 化学-酵素合成を基軸としたFR901483の構造多様化と創薬化学研究 |